



## 子ども体験教室



☆星座盤づくり

自分だけの星座盤をつくってみよう!

日時: 1月15日(土)、2月12日(土)、3月12日(土)  
10時~12時

定員: 小学4~6年生 各回15人(先着順)

会場: えどがわエコセンター(グリーンパレス5階)

持ち物: はさみ、新聞紙

申し込み先: ファクシミリで大和地弘一まで

FAX: 3650-1610

☆環境カルタで遊ぼう

カルタで環境について学んでみませんか?

日時: 1月22日(土)、2月5日(土)  
11時~12時

定員: 小学4~6年生 各回20人(先着順)

会場: えどがわエコセンター(グリーンパレス5階)

申し込み: 不要。直接会場へ

### 問合せ先

えどがわエコセンター

電話: 5662-1651

### エコセンターからのお知らせ

1月	8日(土)	水辺環境調査(野鳥)	※定員に達したため、募集は締め切りました
	15日(土)	生ごみリサイクル講習会(土曜コース)	※定員に達したため、募集は締め切りました
	15日(土)	子ども体験教室 星座盤づくり 10時~12時	※詳細は上記をご覧ください
	19日(水)	水辺環境調査(植物)	※定員に達したため、募集は締め切りました
	21日(金)	第36回全国小中学校環境教育研究大会 9:30~16:40	会場: 東葛西小学校 ※詳細はえどがわエコセンターホームページをご覧ください
	22日(土)	子ども体験教室 環境カルタ 11時~12時	※詳細は上記をご覧ください
2月	24日(月)	生ごみリサイクル講習会(平日コース)	※定員に達したため、募集は締め切りました
	5日(土)	子ども体験教室 環境カルタ 11時~12時	※詳細は上記をご覧ください
	11日(祝)	葛西東なぎさミニクリーン作戦	※詳細はえどがわエコセンターホームページをご覧ください
	11日(祝)	子ども体験教室 葦刈とヨシズづくり	※詳細はエコセンターへ問い合わせください
	11日(祝)	暮らしと住まいツアー	※詳細はエコセンターへ問い合わせください
	12日(土)	子ども体験教室 星座盤づくり 10時~12時	※詳細は上記をご覧ください
	15日(火)	第4回エコクッキング	※詳細はえどがわエコセンターホームページをご覧ください
27日(日)	第1回(仮)小松川池草刈り・クズ掘り大会	※詳細はエコセンターへ問い合わせください	

お問い合わせはえどがわエコセンターまで

#### 編集後記

す: 今年度3回目の発行となるエコちゃんねる。着実に事業が実施されています。企業の方々も「企業市民」として社会貢献活動を行っております。企業会員からの原稿をお待ちしています。

編集・発行: 特定非営利活動法人えどがわエコセンター

住所: 〒132-0031 江戸川区松島1-38-1 グリーンパレス5階

電話: 03-5662-1651 FAX: 03-5662-1658

e-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp

URL: http://www.edogawa-ecocenter.jp/

開館時間: 午前10:30~午後7:00 水曜定休



2005年1月発行

エコちゃんねる=イメージキャラクターのエコちゃん+Channel(情報を送る)

## NEWS! 東京都グリーンコンシューマー奨励賞を受賞! ★

えどがわエコセンターと江戸川区商店街連合会(区商連)が「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」を受賞しました。区商連の「ノーポリ袋デー」に合わせて行ったマイバッグコンテストやエコクッキングなどが、「環境に配慮した消費生活の普及推進に貢献した」と評価されました。

## 特集! エコタウンと小学校

「小学校を町のエコセンターに」 えどがわエコセンター 岡島成行理事長

えどがわエコセンターも発足以来、早くも9か月になります。当初はよちよち歩きのように、秋に入って様々な事業やイベントが重なってきて、ようやく格好がついてきました。

今年度の大きな目標は三つの商店街にランチを設置することと三つの小学校にランチを置くことです。商店街は成功しつつあります。そこで小学校はどうでしょうか。佐々木定治先生(中小岩小学校長・えどがわエコセンター理事)のお骨折りもあって着々と準備が進んでいます。

小学校は子どもが歩いて通える範囲に一つずつあるわけですので、小学校の学区はコミュニティの原単位といえるでしょう。そこではお互いが顔見知りであり、どんな人が住んでいるのか大体検討がつかます。

ですから、小学校は地域のセンターでもあるのです。その小学校をエコスクール化すれば地域に与える影響は非常に大きいといえるでしょう。子どもを通して親が環境問題に関心を持つようになります。

商店街が少しずつエコ化し、あわせて小学校がエコ化すればもう鬼に金棒です。毎年三つずつエコ化すれば5年もたてば15の小学校と15の商店街がエコ化します。そこまでくれば一気に流れが出るでしょう。江戸川区が時代に先駆けてエコタウン化するのは、65万人もの大きな都市がエコ化するといったような例は世界にもありません。

何ごとも一歩を踏み出さないかぎり始まりません。初年度はわずか三つの小学校がエコ化するわけですが、じっくりと広げていけばそんなに時間がかからなくても全江戸川に広まります。

大きな目標に向かって、みなさん、まずは近くの小学校から取り組んでみましょう。調子が出てくれば1年で五つも六つもエコ化する小学校が出るでしょう。65万都市のエコタウン化という壮大な夢の実現も案外早いかもしれないですよ。



全国小中学校環境教育研究会会長・区立中小岩小学校長

## 佐々木定治先生に聞く!



えどがわエコセンターは、江戸川区という地域社会を舞台として区民・環境団体・事業者・行政が、連携・協働するパートナーシップのもと、65万都市江戸川区のエコタウン化を大テーマとし、環境生活力のある人づくりを推進します。また学校の環境学習はもとより区内の自然環境を整え、共に実践するネットワークを広げていく全国初の事業を展開しています。

私はその各種事業の中で「小学校環境学習支援事業」を担当しておりますが、事業内容は江戸川区区内小学校における環境教育・環境学習を区内の地域特性を生かしつつ充実したものであるための、プログラムづくりを行うことです。

### 環境学習応援団データベースを作成

事業をスムーズに進めるために、4月から次のような仕事を進めてきました。

- ①小学校環境学習支援事業検討会(4回) ②小学校環境学習支援・協力についてのアンケート(回収率89%) ③企業・団体・個人の支援状況調査とデータベース化 ④アンケート集計による「環境応援団小冊子」の作成配布 ⑤グリーンプラン推進校の募集。

### グリーンプラン推進校

⑤のグリーンプラン推進校においては、小学校環境学習支援事業検討委員会において整備された(仮)環境学習応援団データベースを活用して、来年度、環境学習に取り組む計画のある小学校3校を募集するものです。環境学習の実践にあたっては、学校単位・学年単位・学級単位のいずれでもよく、プラン実施にあたってはエコセンターが相談・講師派遣・運営支援をする画期的な事業です。

### エコセンターの活用を

学校で「エコする暮らしを学ぶ」ことは、たったひとつの地球を大切に作る人間としての暮らしを振り返り、65万都市江戸川区のエコタウン化を推進していくおおきな役割を果たすものと考えます。その意味においても、これからますますのご支援を賜りますようお願いし、エコセンターの活用をお待ち申し上げております。

## 随感

えどがわエコセンター

事務局長

鈴木 稔夫

えどがわエコセンターは、平成16年4月にグリーンパレス新館5階にオープンいたしました。窓辺から見るまちの様子は、春から冬へと時の流れを感じさせてくれます。

この間、エコセンターの活動も、区民の方々、団体、事業者との連携・協働の輪が少しずつ広がってまいりました。

日本で最初の発見地、江戸川区に再び復元すべく、埼玉県羽生市や羽生市ムジナモ保存会の協力を得ながら進めているムジナモ(食虫植物)再生プロジェクトや先生方との連携に基づいた小学校環境学習支援事業、商店街と協働したイベントの実施、地域で学び地域で実践する人づくりを目指した環境学習リーダー養成講座、水辺環境調査、自然観察会、エコバスツアー、エコクッキング、子ども体験プロジェク

## エコセンター事業報告

### 環境学習リーダー養成講座

10月、11月と長期にわたった講座も、11月20日の修了式をもち、学びの部分を終了しました。初回参加時には緊張されていた参加者の皆様も、回を追うごとに緊張がほぐれ、講習会の雰囲気も共に学んでいくという雰囲気になってきました。この講座で学んだ集大成として、受講生自身が企画、立案、実施を手がける、第8回チャレンジ講座が2月~3月(一部4月上旬)に実施されます。奮ってご参加下さい。



### 生ごみリサイクル講習会

11月から生ゴミリサイクル講習会がはじまりました。平日コース、土曜コース、の2コースがあり、各コースとも3回の連続講座です。初回の講習会では、講師の説明により「私にもできるかしら」と少し不安げな表情がみられた参加者の皆様からも、不安の表情が取り除かれたようでした。参加者の皆様、ご家庭での実践がんばってください。



### 自然観察会

10月23日に一之江名主屋敷で自然学習会を開催しました。講師に樹木医の小池伸男さんを迎え、楽しい講演と植物の解説をしていただきました。前半は屋敷の中で自然についてのお話を聞き、後半は外に出て、庭園の植物観察を行いました。普段は気づかない身近な自然に、参加したみなさんもたくさんの発見があったようでした。



### おもしろマジメな川・体・験

10月30日に江戸川で「おもしろマジメな川・体・験」を行いました。普段、陸からしか見ることのない江戸川を船の上から眺めることができました。船上では、投網の実演や捕獲された魚の解説、江戸川の歴史についての話など、様々な角度から江戸川を体験することができました。



トなど、実に20以上にも及ぶ事業を実施してまいりました。

誕生してから日も浅いエコセンターが、ここまで活動できたことは、地域の方々、行政の方々のご尽力と会員の方々の智慧と努力が一つになった、まさに「地域力」のたまものです。

このたび、江戸川区商店街連合会と連名で受賞した「東京都グリーンコンシューマー奨励賞」は、そのことを顕著に表したことであり、大変喜ばしいことです。

環境は、「未来からのかりもの」といわれています。65万都市江戸川区のエコタウン化、豊かな環境と共存する社会を目指していくことは、地球環境を大切にしていけることにつながります。江戸川区ならではの「地域力」、その輪をさらに広げて行きたいと願っています。

